

NPO 法人アルペなんみんセンター

2020 年度 事業報告書

(2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

2021 年 6 月 26 日第 2 回通常総会承認

はじめに

2020 年 4 月より、イエズス会日本殉教者修道院を活動の拠点として、本格的に活動を開始した。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、なんみんセミナーの実施、ボランティアの募集、入居者への日本語学習などの対面によるプログラム実施に関しては、活動を縮小せざるをえなかった。

2021 年 2 月に「出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律案」が閣議決定された。改正案は、難民認定申請者が入国管理施設に収容され、帰国に応じなければ刑事罰が課せられるなどの国際法違反の懸念が指摘されており、弊センターも加入しているネットワーク団体「NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク」「NPO 法人なんみんフォーラム」を通して、ロビー活動、署名活動を通して、改善を訴えた。(2021 年 5 月 18 日、法案取下、廃案)

I 難民への定住支援事業

(1) 緊急シェルターの提供

住居に窮する 15 人の難民認定申請者に緊急シェルターを提供し、152 件の緊急支援金の支出をおこなった。

- ・住居相談 126 件 (当事者 51 件、支援者・団体 75 件)
- ・緊急シェルターへの受入 15 人 (転居者 7 人、居住中 8 人)
延べ人数 1,857 人
- ・緊急支援金の支出 152 件 (生活費、医療費)

(2) 日本語支援事業

難民対象の対面での日本語教室を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面ボランティアスタッフの募集を見送らざるをえなかった。オンラインを中心に行った。鎌倉市内の日本語支援教室「日本語コスモス」に活動連携を打診したが、コロナ禍で対面での授業が困難で、ZOOMでの授業を2月より試験的に行うことになった。

- 2020/07 より、ZOOMでの日本語教室（東京の日本語教室と連携）
- 2020/12 より、近隣の学習支援NPOの協力で、入居中の幼児の日本語学習支援協力を頂いた。
- 2021/01 より、対面での日本語教室（地域ボランティアと連携）
- 2021/02 より、ZOOMでの日本語教室（鎌倉市内の日本語教室と連携）

(3) 地域交流会等

地域団体との交流活動

- 2020/10 より、毎週日曜日ジュニア合唱団なぎさ道
- 2020/12 より、随時、マナビノキ

音楽セラピー（講師：有坂美香）

- 2021/1 より、毎週木曜日（3回実施）

鎌倉の歴史・文化を学ぶ散策

- 2020/12 より、月1回開催、ボランティアと難民が鎌倉散策

II 情報発信事業

(1) 国際理解教育事業

難民への理解を深めていただくために、「難民セミナー」を3回実施した。当初、予定していた4回は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

- 2020/10 聖母訪問会（鎌倉市内） 30名参加
- 2020/11 上智大学岡ゼミ（弊センター） 14名参加
- 2021/01 鎌倉泉水教会（鎌倉市内） 15名参加

(2) メーリングリスト、HP等の運営管理事業

ホームページ、SNSを通して難民の現状を発信した。また、中小企業デジタル化応援隊事業の「ホームページ構築」支援をうけて、よりよい情報発信に向けてリニューアルをおこなった。

(3) その他（印刷物、掲載紙等）

*アルペ通信 No.1（2020年12月号）を発行 1万部発行 全国に送付

*リーフレット 2万部発行

*カトリック新聞 2020.9.27日号「難民移住移動者の日」に広告を掲載。

*掲載紙

カトリック新聞 2020年4月26日号

迫害を逃れてきた人の受け皿に アルペなんみんセンター開所

Mネット 2020年6月号「難民を拒絶する国、ニッポン」特集
包括的な難民受入体制の確立を

建築ジャーナル 2020年11月号「外国人居住」特集
住宅支援も含めたセーフティネットの構築

カトリック新聞 2020年12月6日号
人間の大地で、今 難民が暮らしやすい社会を

福音宣教 2020年12月号
インタビュー「アルペなんみんセンター」を立ち上げて

NHK国際部 取材 2021年秋 放送予定

III 調査・研究事業

2020年1月21日 鎌倉市地域共生課と難民との共生社会構築に向けての意見交換。

*難民に関する研究会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。